

## 基本目標Ⅱ 「いきいきかがやく元気なまち」

### 豊かな健康長寿社会

- ▶ 自殺対策を強化するため、ゲートキーパー(悩みを抱えている方に気づき、声をかけ、話を聴き、支援につなげ、見守る人)としての役割が期待される様々な組織・団体を対象に研修を行い、理解促進を図ります。また、インターネットの検索連動型広告サービスを活用し、相談機関の早期利用を促すほか、自殺予防を啓発する絵本制作などに取り組みます。
- ▶ 歩数・健康データの入力などの取組に、デジタル地域通貨「いたばしPay」のポイントを付与し、健康意識の醸成・活動の継続・管理の習慣化をめざします。
- ▶ 医療・介護・健診情報を一元化する国保データベースシステムを活用・分析するモデル事業を、高島平圏域で実施し、後期高齢者を対象に健康管理を促し、効果的・効率的な健康寿命の延伸を図ります。
- ▶ がん治療による外見上の悩みを抱える患者を支援するため、医療用ウィッグなどの購入費用を助成し、就労継続・社会参加などを促進します。

### 心躍るスポーツ・文化

- ▶ あずさわスポーツフィールドなどでの「スポーツフェスティバルin板橋」や都立城北中央公園での「(仮称)体験型スポーツマッチングテスト」を開催し、運動への関心・意欲向上を促します。
- ▶ 「いたばしの昔話」(昭和53年発行)を絵本にして、小学校低学年に配付し、板橋の歴史・文化を学ぶ機会の創出・郷土愛の醸成につなげます。
- ▶ 4月から、区立文化会館・グリーンホールの指定管理者を(公財)板橋区文化・国際交流財団とするほか、「生誕110年佐藤太清展」・海外姉妹友好都市紹介イベントなどを開催し、地域文化の創造支援・多文化共生の推進に組み込みます。



### 光輝く板橋ブランド・産業活力

- ▶ 新型コロナウイルス感染症・物価高騰などの影響を受けている区内中小企業・事業者を支援するため、経営安定化特別融資の延長や施設改修などの区発注工事の増加などで、地域経済の活性化に組み込みます。
- ▶ デジタル地域通貨「いたばしPay」と各種事業を連携させることで、地域経済の活性化に加えて区民の健康増進などの課題解決への取組を進めます。
- ▶ SDGsの普及・啓発とマルシェ(市場)を融合させた「板橋SDGsマルシェ」を開催し、にぎわいと交流の創出・板橋ブランドの発信に組み込みます。
- ▶ 農作業の知識・技術を持った農のサポーターを養成し、収穫体験事業の拡充・学校給食への食材提供に協力してもらい、農業の継承支援に組み込みます。



## 基本目標Ⅲ 「安心・安全で快適な緑のまち」

### 緑と環境共生

- ▶ ゼロカーボンシティ(二酸化炭素排出量が実質ゼロのまち)をめざす取組として、再生可能エネルギー100%電力の導入拡大や、同電力を利用した電気自動車の追加導入を行います。また、いたばし環境アクションポイント事業の拡充などで、区民・区内事業者の行動変容を促します。
- ▶ 令和6年度からのプラスチックごみ分別回収の開始に向け、中間処理施設・収集方法を決定し、住民説明会の開催やハンドブックの全戸配布などに取り組みます。
- ▶ 区立公園内のトイレ改築設計を1か所前倒しするほか、こどもの池跡地への新たな水施設・遊具の設置など、公園の有効活用を進めます。

### 万全な備えの安心・安全

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策として、病院間連携、夜間・休日救急往診、自宅療養者への医療サポートなどを継続し、長期化するコロナ禍に万全の体制で備えます。
- ▶ 都の新たな被害想定・令和5年度改定予定の都の地域防災計画・近年の災害事例などを踏まえ、区の地域防災計画・備蓄体制最適化計画を改定します。また、民間事業者・新たに舟渡四丁目に整備される「MFLP・LOGIFRONT東京板橋」などの民間施設と連携し、実効性の高い災害対策を進めます。
- ▶ 新河岸地区の水害対策として、新河岸陸上競技場・荒川堤防を活用した避難経路の整備に向けて、国と共同で設計・工事を進めます。

### 快適で魅力あるまち

- ▶ 大山駅周辺では、東武東上線の立体化・駅前広場の整備に向けた用地取得などに取り組むほか、クロスポイント周辺地区で建築工事、ピッコロ・スクエア周辺地区の再開発組合の設立認可取得などを支援します。
- ▶ 上板橋駅南口駅前の東地区で除却工事・道路などの実施設計に着手するほか、西地区で再開発組合の設立認可を取得する予定で、まちづくりの着実な進展を支援します。
- ▶ 板橋駅西口周辺の板橋口地区で建築工事が進む中、公益エリアの基本構想・基本計画の策定に着手します。また、西口地区で権利変換計画の認可取得を支援し、駅前広場の再整備設計に着手するなど、板橋の玄関口にふさわしいまちづくりを推進します。
- ▶ 高島平地域都市再生実施計画に基づき、再整備地区・駅周辺エリアを合わせた交流核エリアのまちづくりプランを策定し、(独)都市再生機構と連携して取り組みます。



## 計画を推進する区政経営

- ▶ 国から「SDGs未来都市」に選定されたことをきっかけに区民・企業などがSDGsを自分事として捉え、行動につなげていく学びの循環と情報共有・連携の仕組みづくりを進めるローカルイノベーションプロジェクトなどに取り組みます。
- ▶ DXの強化として、高島平地域でのデジタル技術を活用したスマート東京推進プロジェクトを実施します。区公式LINEアカウントの開設・公共施設使用料のキャッシュレス決済の導入・区役所戸籍住民課窓口での「書かない窓口」の導入など、デジタル化・オンライン化を推進します。
- ▶ 中央図書館・区立美術館を中心に、絵本文化を享受する利用者・創造する創作者・区による「絵本の魅力・特徴の体現」を3つの視点とする施策横断的な事業展開に組み込み、「絵本のまち板橋」のさらなるブランディングを推進します。



- ▶ 「ダイバーシティ&インクルージョン」の推進として、区独自のパートナーシップ制度の導入や、記念カードの贈呈・啓発動画の作成などに取り組み、性的マイノリティ当事者が暮らしやすい環境づくり・多様な性に関する理解促進を図ります。



## おわりに

令和5年度は、「いたばしNo.1 実現プラン2025」を改訂し、令和8年度からの新たな基本計画を見据えた展開・発展となるよう、内容の充実を図っていきます。

ウィズコロナにおける区政運営を見据えて創意工夫を重ね、持続可能な区政を実現していきます。

今後も、基本構想の将来像「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」を実現し、「東京で一番住みたくなるまち」と評価されるまちをめざして邁進します。

## 令和5年度当初予算の規模

区分	令和5年度	令和4年度	伸び率	
一般会計	2372億5000万円	2297億9000万円	3.2%	
特別会計	国民健康保険事業	558億3000万円	558億9000万円	△0.1%
	介護保険事業	463億7300万円	452億700万円	2.6%
	後期高齢者医療事業	142億4900万円	135億900万円	5.5%
	東武東上線連続立体化事業	4億4000万円	1億5000万円	193.3%
合計	3541億4200万円	3445億4600万円	2.8%	

※伸び率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。